

藤田智直伝!

家庭菜園

基本のホン!

その12 スイカ

冷えた真っ赤な果実に、みんなでかぶりつく……。そんな風景を、だれもが一度は経験していることでしょう。スイカは夏の風物詩、切っても切れない関係です。次の夏は、自分の畑で甘い甘いスイカを作って、その風景を再現してみませんか？

恵泉女学園大学 園芸文化研究所助教授

藤田 智



緑にシマシマの皮、真っ赤な果実は夏の風物詩！ 野菜というよりフルーツとして愛されているスイカ。

スイカの特徴

シマシマの皮と真っ赤な果肉が夏の風物詩といわれるスイカは、熱帯アフリカ原産で、ウリ科の雌雄異花同株の一年草です。原産地に近く、古代文明が発達していたエジプトなどで栽培が認められ、かなり古い時代の壁画にもスイカが描かれています。日本へは徳川家光の時代である寛永年間（1624～1644）に長崎へ入り、広まったといわれています。ただ、これ以前の絵画にもスイカらしきものは登場しているのですが。

スイカには、生食用の普通スイカのほか、幼果を収穫する漬物用スイカ、種子用スイカ、飼料スイカなどがあります。生育適温は23～30℃と高温を好み、酸性や土の乾燥にも強いのですが、着果率を向上させるため、日当たりと排水性のよい畑で栽培します。また、連作は禁物で、低温伸長性や土壌伝染病害（つる割病）への抵抗性を強めるため、ユウガオやカボチャの台木に接ぎ木する栽培が一般的になっています。最近ではホームセンターの園芸コーナーでも、いろんな品種の接ぎ木苗が出回るようになり、自根苗の2～3倍程度の価格で購入することができます。このところは、果実の利尿効果により新陳代謝が促進されること、また含まれる赤色素のリコピンに発がん予防作用があるとされるなど、スイカは健康面でも注目されてきています。

主な品種

品種は、果実の大きさによって大玉種（5～8kg）と小玉種（1～5～3kg）に分類されます。皮の色は、縞皮のほか黒皮の品種も見られ、形も枕形や楕円形などがあってユニークです。また、果肉色も赤肉、クリーム色の肉、色の濃い黄肉などをした品種があります。

す。家庭菜園では、小玉種が作りやすくおすすめです。3倍体のタネなしスイカ品種もありますが、晩生であること、採種や発芽が困難なこと、必ず普通スイカの花粉で交配する必要があること、奇形果が出やすいことなどから、市場に占める割合は2%以下で推移しています。

おすすめスイカあれこれ

小玉種（1.5～3kg）



着果性がよく多収、赤肉の小玉種 '紅しずく' (果重2.5～2.8kg)。



クリーム色の果肉を持つ 'こだま' (果重1.5～2kg)。



濃黄肉で 'こだま' よりひと回り大きいニューこだま(果重1.8～2kg)。

大玉種（5～8kg）



果実の肥大がよく収量も安定している '伊吹' (果重約6kg)。



高糖度で日もちのよい '秀山' (果重7～8kg)。



果皮が独特の黒緑色で作りやすい 'ブラックボール' (果重6～6.5kg)。



高糖度で食味がよく、着果も安定している '夏武輝' (果重6～8kg)。



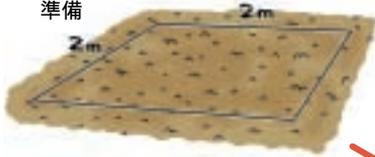
栽培が容易で甘い香りが特長の枕形スイカ 紅まくら(果重7～8kg)。



草勢が強く耐暑性のある楕円形大玉の 'ピロマスタ' (果重約8kg)。

第1図 土づくり

準備



1株当たり2 x 2mの畑を準備する。

元肥の投入 (植え付け直前でも可)

元肥(1㎡当たり)
堆肥 3~4kg
化成肥料 50~100g
熔成リン肥 50g

リン酸は果実の品質をよくするのでこれより多めとし、チッソはつるぼけ防止のため少なめとしてもよい。

よく耕す。

植え付け2週間前
苦土石灰を散布する。

苦土石灰 1㎡当たり150g

よく耕す。

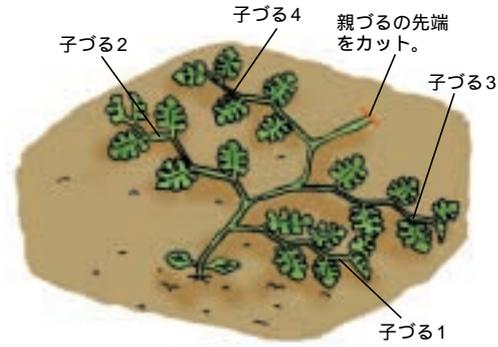
くらつきにする
くらつき(直径30cm、高さ20cmの円錐状)にする。



1畑の準備

スイカは比較的浅根性のため、深耕によって根を深く張らせ、養水分の吸収をよくします(第1図)。

第3図 摘芯 本葉5~6枚で摘芯する。



子づる2 子づる4 親づるの先端をカット。 子づる3 子づる1

3 整枝法

本葉5~6枚で摘芯し、4本仕立てにします(第3図・第4図)。着果節位は17節以上とし、交配を行います。交配の際は雄花の花弁を全部とって、雌花の柱頭に花粉をこすりつけるようにし、交配日を記した荷札などのラベルをつけておきます(第5図)。作業は、午前10時ごろまでに終わらせるよ

第2図 植え付け

4月下旬~5月中旬に植え付ける。

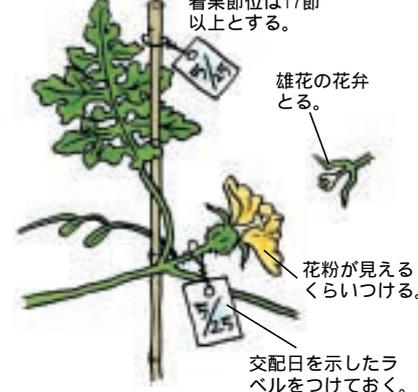


植え付け後、トンネルまたはホットキャップで被覆(内部の温度が30℃以上にならないよう注意)。

2 植え付け

4月下旬~5月中旬に植え付けます。活着するまで、トンネルまたはホットキャップで被覆しておきます(第2図)。

第5図 交配



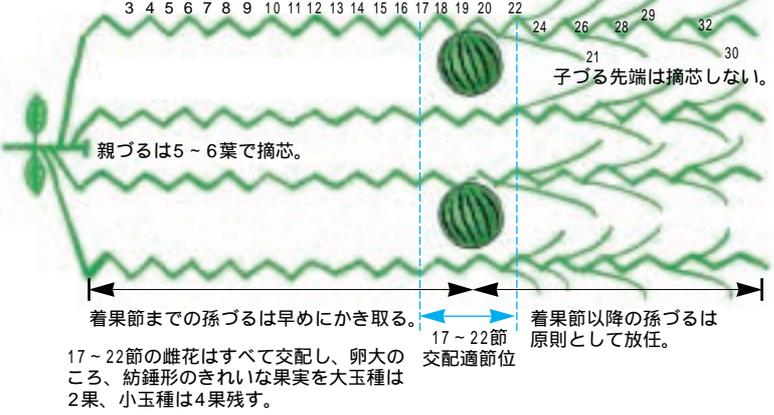
着果節位は17節以上とする。

雄花の花弁とる。

花粉が見えるくらいつける。

交配日を示したラベルをつけておく。

第4図 子づる4本整枝2果どり栽培の模式図



親づるは5~6葉で摘芯。

着果節までの孫づるは早めにかき取る。

17~22節の雌花はすべて交配し、卵大のころ、紡錘形のきれいな果実を大玉種は2果、小玉種は4果残す。

17~22節 交配適節位

着果節以降の孫づるは原則として放任。

子づるの先端は摘芯しない。

うにしましょう。大玉種で1株から2果、小玉種で4果を収穫することを目標に、ほかは摘果します。

タネなしスイカ

真っ赤な果肉に真っ黒なタネが点在しているのが、スイカの定番です。タネを飛ばしながら食べるのも、これまた夏の風物詩といえるのですが、「食べる時にどうもじゃま」と感じる方も実は多いようです。そんな思いを解決したのが、タネなしスイカです。

タネなしスイカは、1947年に京都大学の木原均博士によって作出されたといわれます。その方法は次の通りです。

まず、通常品種(2倍体、染色体数 $2n=22$)をコルヒチンで処理し、4倍体($2n=44$)の

スイカを育成します。4倍体のスイカと2倍体のスイカを交配すると3倍体($2n=33$)のスイカができるのですが、これがタネなしスイカというわけです。

しかし、品種育成に時間がかかるほか、晩生なこと、栽培が大変なことなどの理由で、普及はあまり進んでいません。ものすごいアイデアで、遺伝育種の教科書には必ず登場する技術なのですが……。

やはり、スイカにはタネがあった方がいい、ということでしょうか？



4 追肥

着果したら第1回の追肥をします。着果前に追肥すると、つるのぼけになりやすいので避けましょう。2回目以降は生育状態を見て適宜行います。追肥の量は、化成肥料1㎡当たり30gが目安で、株元や畑全体へ施します(第6図)。

第6図 追肥 1回目の追肥は着果したら行う。

化成肥料
1㎡当たり30g

株元あるいは畑全体に。



5 除草・敷きわら

雑草が生長すると日当たりを悪くし、果実の肥大を妨げて品質を低下させます。そこで、つるが伸びる前に畝間の除草を行い、敷きわらをします(第7図)。

第7図 敷きわら

畑全体に敷きわらをする、除草の手間が省ける。



スイカをたたけば糖度が分かる?

八百屋さんに行くとき、よくスイカの果実をたたいて「おいしいよ!」と言われますが、本当にたたいて分かるものでしょうか? 私は何回たたいても音の区別がつかなくて、当惑している1人です。



よく考えてみれば、生産農家の方々の畑で

は着果した果実はほぼ一直線に並んでいて、交配日が記されており、かつ積算温度も計算されています。したがって、時期が迫ってきたら畑のスイカを2~3個試し切りし、甘みを確認してから収穫しているので、八百屋の店頭に並ぶものの甘みはほぼ揃っていることになります。たたいても甘さは変わらないということです。

しかし、スイカには「中落ち」といって、果実の中心部が割れていることがあり、たたけばそれが分かるという人がいます。中落ちスイカの場合、たたくと中の音が反響するのですが、残念ながら、何回たたいても私には分かりませんでした。これはやはり、修行不足ということでしょうか?

6 病害虫防除

炭疽病にはジマンダイセン水和剤500倍液、うどんこ病にはモレスタン水和剤2000倍液を散布します。アブラムシやハダニなども、発生したら防除に努めます。

7 収穫

外観や果実をたたいた音で、熟期を確実に判定することは難しいため、開花後日数や積算温度(毎日の平均温度の合計)を参考に判断します。日数は大玉種で開花後35~40日程度、積算温度は大玉種で1000程度、小玉種で850~900です(第8図)。

第8図 収穫 開花後日数と積算温度で判断する。



小玉種
開花後 35日程度
積算温度 850~900



大玉種
開花後 35~40日
積算温度 1,000



藤田 智
(ふじた さとし)

プロフィール

恵泉女学園大学園芸文化研究所助教授。専門は野菜園芸学、植物育種学、農業教育学。「NHK趣味の園芸」講師、雑誌「やさしい畑」連載のほか、ラジオなどでも野菜作りの魅力を伝えている。主な著書に「別冊NHK趣味の園芸・わが家の片隅でおいしい野菜を作る」(NHK出版)など多数。

積算温度: 毎日の平均気温を合計したもの。例えば、スイカの果実の成熟には一定の日数がかかるが、日数よりもむしろ毎日の気温の累積が重要であり、それは800~1,000とみられている。つまり、快晴が続いた場合、日数は少なくても、累計がこのぐらいの積算になれば成熟に達するとみられている。